

クラシック音楽の今がわかる  
**ぶらあぼ**

Classical Music  
+ Dance and more

---

クラシック音楽情報誌『ぶらあぼ』  
クラシック音楽情報ポータル「ぶらあぼONLINE」

# 媒体資料

<https://ebravo.jp>

© 2025 BRAVO Holdings All rights reserved.



# クラシック音楽情報誌『ぶらあぼ』(月刊)

# ぶらあぼ

Classical Music  
+ Dance and more

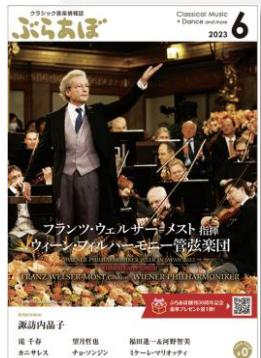
創刊31年目を迎えた、クラシックファンのためのコンサート情報フリーマガジン

創刊:1994年

発行:毎月18日

製本寸法:A5規格

サイズ



発行部数 **35,000部** ※ぶらあぼONLINEでデジタルマガジンとしても購読可能

配布場所 コンサートホール、音楽大学、楽器店（ヤマハミュージック、山野楽器、島村楽器他）、CDショップ（タワーレコード、HMV他）など北海道～沖縄まで全国約700ヶ所の拠点で  
無料配布／公益社団法人日本演奏連盟の全会員約3,200名に定期送付

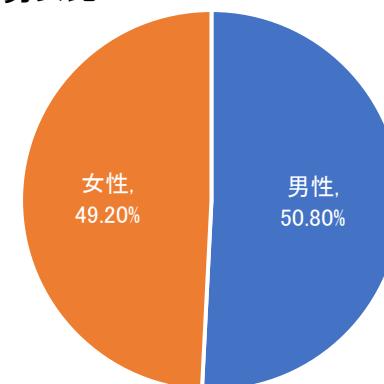
## 本誌の特長

1. 全国の最新コンサート情報や公演紹介記事を掲載した日本最大のクラシック音楽フリーマガジンとして、30年にわたりクラシックファンの間で絶大な支持を得ています。
2. 国内の主要音楽祭の特集や海外オーケストラの来日情報など、話題の音楽シーンのチケット発売情報を逃すことなく入手することができます。人気アーティストのインタビュー記事やコラムはもちろん、新譜CD・書籍新刊情報や海外公演情報も網羅し、**ビギナーからコアなファンまで、さまざまな読者層が楽しめるコンテンツ**を掲載。圧倒的な情報量がA5サイズのコンパクトな雑誌の中に集約されています。
3. 2022年より**吹奏楽の特集記事**を毎号設けたり、ぶらあぼONLINEで好評の**ピアノコンクール特集**をハイライト版で雑誌でも展開するなど、近年はクラシック界の5年後、10年後を見据え、特に**若年層へのアプローチ**を意識した誌面作りを心がけています。
4. 広告主は、音楽事務所、全国の音楽ホールなどの公演主催者、コンクール主催者のか、楽器メーカー、楽器店、CDレーベル、音楽大学（入試告知等）、音楽スタジオと多岐にわたっており、**広告の内容そのものが貴重な情報源**として、読者によく読まれているのが特徴です。

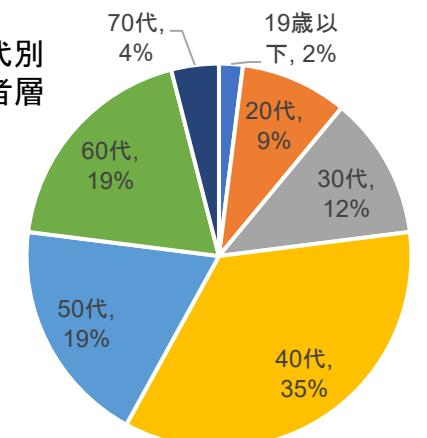
## 読者の属性

30代～60代を中心に幅広い年齢層が支持

### 男女比



### 世代別 読者層



# Contents

独自取材によるインタビュー、特集記事を中心に誌面を構成

- インタビュー & 公演紹介** Pre-Stage interview 2ページの巻頭インタビュー記事  
BRAVO Tips interview 1ページのインタビューおよび特集記事  
**Close Up** 音楽祭、座談会など不定期の特集記事  
**Pick Up** さまざまな注目公演を取り上げた記事  
**連載** ガンバレ！吹奏楽部！ぶらあぼプラス！  
**読みもの** 城所孝吉「気分はカプリッチョ」（ベルリン音楽事情）  
乗越たかお「誰も踊ってはならぬ」（ダンス界を斬る）  
**CD情報** New Release Selection 注目の新譜CDをピックアップ  
**国内盤&輸入盤新譜情報**  
**書籍新刊** Books 書店ランキング（ヤマハ銀座店提供）やクラシック関連の近刊情報を掲載  
**海外公演情報** 海外旅行者向けに欧州を中心に注目公演を紹介  
**注目公演** 刊行月の公演情報をピックアップして掲載  
**公演紹介** (コロナ禍を機に、ニュース、TV・FM情報、公演カレンダーなど  
即時性の必要なコンテンツをwebに移行しました)

さまざまな角度から、常に音楽ファンのニーズに応え、クラシック音楽文化とアーティストの魅力を伝えるようなコンテンツを提供してまいります。



2022年にスタートした全国の学校の吹奏楽部を訪ねる応援企画が若年層に好評を博しています。



楽器にフォーカスした記事の事例。

ピアノ



ショパンコンクール開催直後、話題の出場者を編集部に招き、独自取材したタイムリーな企画が話題を呼びました。

# ぶらあぼONLINE（ウェブサイト）



◎ぶらあぼONLINEを核とした多彩なウェブメディア

## コンサート 検索 データベース

ぶらあぼの生命線とも言える、他の追随を許さない圧倒的な情報量。近日、チケット販売と連携予定。

## ぶらあぼ ONLINE 記事・読みもの 総合ポータル

## チケット販 売

電子チケット販売サービス「teket（テケト）」と連携

クラシック音楽メディア  
No.1のフォロワー数を誇る  
Xをはじめ、2023年5月ス  
タートのLINEも好調。

SNS  
X  
Facebook  
Instagram  
LINE

クラシック音楽シーンの今がわかる！  
新しい情報が日々更新されます。

<https://ebravo.jp>

ONLINE内の記事やコン  
サート検索データベース  
との連携により、公演紹  
介からチケット購入まで  
ワンストップで。

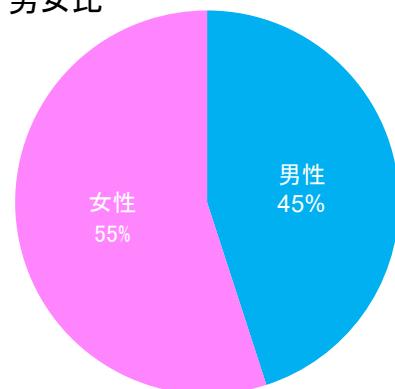
## ぶらあぼONLINEの特長

- 最新ニュースや注目アーティストのインタビュー、全国の公演情報、TV・FM番組情報、前売チケット発売情報などクラシック・ファンが求める幅広い情報を網羅したポータルサイト。**SNSとの連動**により集客が見込めます。
- 海外のコンクールの速報レポートなど、即時性を重視して公開しています。
- ONLINEトップページから、**コンサート検索データベースや動画&ポッドキャスト配信のWeb Station**にもシームレスに移行可能。読みものだけでなく、耳でも楽しめるコンテンツをお届けします。
- アーティスト自身の言葉**をファンに届けることを最も重視。国内外で活躍する演奏家たちが自ら語った言葉をクラシックファンにさまざまな形で伝えます。
- 読者に向けて、定期的に**プレゼントキャンペーン**を実施するなど、継続的に来訪してもらえる施策を行っています。

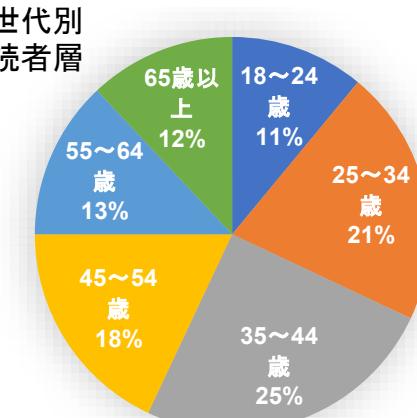
### 読者の属性

雑誌に比べ年齢層が若く、やや女性優位

#### 男女比



#### 世代別 読者層



## メディアプロフィール（2025年10月）

- 月間ページビュー
- 月間ユニークユーザー

**2,728,200** PV  
**668,000** UU

※ショパンコンクール開催期間：10/2～10/23

WEBメディアとして成長中！

**業界メディア No.1 の公式SNSフォロワー数**  
(2025年10月時点)



(旧twitter)  
@bravo\_tweet

**48,400** 人



@BravoClassic

**26,300** 人



@bravoclassic

**5,900** 人



@bravoclassic

**16,300** 人

友だち登録者数



@BravoTokyoMDE

**5,700** 人

※ X、Instagramでの配信

# ぶらあぼONLINE ピアノコンクール特集

プレーヤー層を含むピアノ好きが集結。SNSで大いに盛り上がる。

## ① ショパン国際ピアノコンクール (2025年10月)

2,720,000PV

※コンクール期間中の月間PV



The screenshot shows the 'ぶらあぼ' website with a banner for the '19th International Chopin Piano Competition'. It features a photo of a piano and the competition's name. Below the banner are sections for 'MAIN PRIZES' (with winners from the USA, Canada, and China), 'SPECIAL PRIZES' (including a mention of Yehuda Prokoppolitz), 'REHEARSAL AWARDS' (with winners from the USA, Canada, and China), and 'Newspaper' (with an interview with a competition participant). At the bottom, there are sections for 'Repertoire & Award', 'Final/Competition', and 'Live Streaming'.

## ② エリザベート王妃国際コンクール (2025年5月)

1,310,000PV



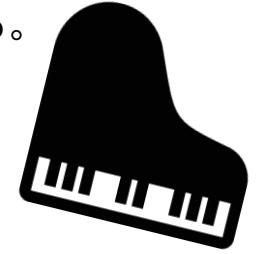
The screenshot shows the 'ぶらあぼ' website with a banner for the 'Elizabeth Queen of England Piano Competition'. It features a photo of three pianists. Below the banner are sections for 'MAIN PRIZES' (with winners from the USA, Canada, and China), 'SPECIAL PRIZES' (including a mention of 'NISSEY OPEN'), 'REHEARSAL AWARDS' (with winners from the USA, Canada, and China), and 'Newspaper' (with an interview with a competition participant). At the bottom, there are sections for 'Repertoire & Award', 'Final/Competition', and 'Live Streaming'.

## ◎現地からの速報レポートが大反響

近年、大きな反響を読んでいるのが海外のピアノコンクールです。ぶらあぼでは、音楽ライターを現地に派遣し、ラウンドごとの会場の様子を速報。入賞者や審査員のインタビューも、取材の翌日には公開するなど、オンラインならではの即時性を重視し、ピアノファンの支持を得ています。

サイトを訪れる層は通常時より若く、20代、30代の女性が中心で、プレーヤー層が多いのが特徴です。ピアノ人口の裾野の広さを実感させられます。

ぶらあぼONLINEのなかでは、現在最も強力なコンテンツとなっています。



# 記事広告メニュー

オリジナリティの高い記事を制作！  
タイミングは臨機応変に対応！

公演のプロモーション、出演アーティストのインタビューなど、ご希望に合わせて記事を制作いたします。トップページの上位表示枠からの誘導や、Twitter、Facebookを活用した誘導で読者にリーチします。記事は、ぶらあぼ本誌でも執筆しているライタ一陣を起用。ご支給いただいた写真や動画を記事内に埋め込むこともでき、クオリティ面での満足感も高いプランです。

項目	掲載期間	料金
記事掲載・SNS告知（取材なし）	掲載時トップ表示 その後サイト内回遊	200,000円
取材・記事掲載・SNS告知	掲載時トップ表示 その後サイト内回遊	250,000円
取材・撮影・記事掲載・SNS告知	掲載時トップ表示 その後サイト内回遊	300,000円

（価格は税抜です）

掲載文量目安：2000字程度／本  
掲載開始日：平日任意  
記事アーカイブ：あり（原則）

- 制作内容やボリュームによって、金額が変更になる可能性がございます。
- 遠隔地への取材に関しては別途費用を申し受けます。

【PC表示】

## INTERVIEW イ・ムジチ合奏団（弦楽合奏）

©2023年9月8日 ■ INTERVIEW ■ お詫び

LINE公式  
ツイート

70年以上、ヴィヴァルディを演奏してきたことは大きな誇りです



取材・文：林昌美

イ・ムジチ合奏団が4年ぶりに日本ツアーを行う。2021年には創立70周年記念ツアーが行われるはずだったが中止になり、今回の来日にかける彼らの思いは強い。この機に日本ツアー公演について語ってもらった。

——日本公演はイ・ムジチにとってどのような存在でしょうか？

日本はイ・ムジチの演奏を最も歓迎してくださる国の一つです。60年以上も日本ツアーを続けて、日本の変化を見てきた以前のメンバーたちは、日本は戦後に国を再建するなかで、伝統に深く根差しながらも果敢に現代を取り入れていったんだとよく話していました。2011年に東日本大震災が起きた際には同年11月に福島まで行き、その後には復興支援プロジェクト「アーケ・ノヴァ」(\*)の一環で福島公演が実現して、演奏後に福島の方々が目に涙を浮かべ声をかけてくださいました。私たちの日本との絆を象徴する大切な思い出です。

※「アーケ・ノヴァ」宮崎県・松島(2013年)、宮崎県・仙台(2014年)、福島・飯坂(2015年)

——日本での演奏の際に、他の国とは異なる独特なものを感じることはありますか？

日本では、街の大小を問わず全国で、美しいコンサート・ホールが私たちを迎えてくれます。また、日本には礼儀正しく立ち直った柔軟らしい禮貌がいることは、欧米の演奏家の間でよく知られています。私たちに恩恵をもたらしてくださっているのでしょうか。コンサート中、特に最初の2~3曲の間はやや冗談が飛ぶくらいですが、演奏会が進むにつれて緊張が解けてきて、「四季」を演奏し始めるごとに、全ての感情を解き放ち、熱烈で情熱的なものを感じます。近年、日本での「お決まりの」アンコールが「赤とんぼ」で、この曲の演奏中は、会場にいる方々の心の動きを感じることができます。

【スマホ表示例】

## INTERVIEW イ・ムジチ合奏団（弦楽合奏）

©2023年9月8日 ■ INTERVIEW ■ お詫び

LINE公式  
ツイート

70年以上、ヴィヴァルディを演奏してきたことは大きな誇りです



取材・文：林昌美

イ・ムジチ合奏団が4年ぶりに日本ツアーを行う。2021年には創立70周年記念ツアーが行われるはずだったが中止になり、今回の来日にかける彼らの思いは強い。この機に日本ツアー公演について語ってもらった。

——日本公演はイ・ムジチにとってどのような存在でしょうか？

日本はイ・ムジチの演奏を最も歓迎してくださる国の一つです。60年以上も日本ツアーを続けて、日本の変化を見てきた以前のメンバーたちは、日本は戦後に国を再建するなかで、伝統に深く根差しながらも果敢に現代を取り入れていったんだとよく話していました。2011年に東日本大震災が起きた際には同年11月に福島まで行き、その後には復興支援プロジェクト「アーケ・ノヴァ」(\*)の一環で福島公演が実現して、演奏後に福島の方々が目に涙を浮かべ声をかけてくださいました。私たちの日本との絆を象徴する大切な思い出です。

※「アーケ・ノヴァ」宮崎県・松島(2013年)、宮崎県・仙台(2014年)、福島・飯坂(2015年)

——日本での演奏の際に、他の国とは異なる独特なものを感じることはありますか？

# バナー広告メニュー

各ページの指定の場所にバナー画像が表示されます。  
公演のプロモーション等にご活用ください。

(税別)

バナー広告枠	掲載期間	料金
プレミアム(ランダム表示)※1※2 1080px × 240 px 72dpi	1ヶ月	250,000円
	2週間	175,000円
スペシャル(ランダム表示)※1 PC用:768px × 768 px 72dpi SP用:768px × 256 px 72dpi	1ヶ月	200,000円
	2週間	140,000円
スタンダード(ローテーション)※3 768px × 256 px 72dpi	1ヶ月	100,000円
	2週間	70,000円
	1週間	40,000円

※1 プレミアム、スペシャルは、お申込み期間が重複した場合、最大2社同時掲載でランダム表示

※2 プレミアムのみ、ぶらあぼONLINEとコンサート検索の両ドメインに表示  
(他のタイプはぶらあぼONLINEのみ)

※3 スタンダードは、1営業日ごとに表示位置がローテーション

差替原稿は掲載期間中1回まで

掲載: 平日任意／午前中掲載スタート 入稿締切: 3営業日前

スマートフォンでの表示に最適化するため、スペシャルをご出稿いただく場合は2サイズのバナー画像をご用意ください。

【PC表示】



プレミアム

【スマホ表示】



スペシャル

スタンダード



広告のお申込み・お問い合わせ



株式会社 ぶらあぼホールディングス 広告係

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-2-6 田中ビル3階

Tel 03-3511-0813

Mail [info@mde.co.jp](mailto:info@mde.co.jp)

URL <https://ebravo.jp>